

品番：SC-91 / 92 / 93 品名：ユートン AQUA

(水性アクリルウレタンエマルジョン塗料)

---

## 仕 様 書

---

玄々化学工業株式会社

## ホルムアルデヒド放散等級

F [(社)日本塗料工業会登録 登録番号 G01138]

F は建築基準法における屋内に面積の制限なく使用できる建築材料を示す規格です。

## 品番 / 品名

SC-91 / ユートン AQUA グロス (ツヤあり)

SC-92 / ユートン AQUA サテン (半ツヤケシ)

SC-93 / ユートン AQUA マット (全ツヤケシ)

## 特長

耐候性に優れた屋内外木部用クリヤー塗料です。

乾燥塗膜は防カビ性を有しています。

水性のため不燃性で、引火性がない。

学校環境衛生基準適合

## 用途

屋内外木製品全般

## 塗装用具

刷毛塗り、スプレー

## 塗装工程

適用範囲：屋内外木製品全般 (未塗装の場合)

仕 様：水性 透明仕上げ (各ツヤ)

工程	使用材料 / 配合比 (重量比)	塗布量 (1回)	塗り重ね 乾燥時間 (20 )
1	素地ごしらえ	サンドペーパー P180 ~ P220	
2	下塗り	ユートン AQUA (SC-91/92/93) 100 水 0 ~ 10	80 g ~ 100 g/m <sup>2</sup> 6 時間以上
3	毛羽取り研磨	サンドペーパー P320 ~ P400	
4	中塗り	ユートン AQUA (SC-91/92/93) 100 水 0 ~ 10	80 g ~ 100 g/m <sup>2</sup> 6 時間以上
5	研磨紙ずり	サンドペーパー P320 ~ P400	
6	上塗り	ユートン AQUA (SC-91/92/93) 100 水 0 ~ 10	80 g ~ 100 g/m <sup>2</sup> 24 時間以上

仕 様：水性 着色仕上げ（各ツヤ）【屋外】

工程	使用材料 / 配合比（重量比）	塗布量 （1回）	塗り重ね 乾燥時間 （20 ）
1	素地ごしらえ	サンドペーパー P180～P220	
2	着色	eLF エクステカラー（S9ライン） 100	40 g～60 g/m <sup>2</sup> 1時間以上
3	毛羽取り研磨	サンドペーパー P320～P400	
4	下塗り	ユートン AQUA（SC-91/92/93） 100 水 0～10	80 g～100 g/m <sup>2</sup> 6時間以上
5	研磨紙ずり	サンドペーパー P320～P400	
6	中塗り	ユートン AQUA（SC-91/92/93） 100 水 0～10	80 g～100 g/m <sup>2</sup> 24時間以上
7	研磨紙ずり	サンドペーパー P320～P400	
8	上塗り	ユートン AQUA（SC-91/92/93） 100 水 0～10	80 g～100 g/m <sup>2</sup> 24時間以上

仕 様：水性 着色仕上げ（各ツヤ）【屋内】

工程	使用材料 / 配合比（重量比）	塗布量 （1回）	塗り重ね 乾燥時間 （20 ）
1	素地ごしらえ	サンドペーパー P180～P220	
2	着色	eLF エルフカラー（S3ライン） 100	40 g～60 g/m <sup>2</sup> 1時間以上
3	毛羽取り研磨	サンドペーパー P320～P400	
4	下塗り	ユートン AQUA（SC-91/92/93） 100 水 0～10	80 g～100 g/m <sup>2</sup> 6時間以上
5	研磨紙ずり	サンドペーパー P320～P400	
6	中塗り	ユートン AQUA（SC-91/92/93） 100 水 0～10	80 g～100 g/m <sup>2</sup> 24時間以上
7	研磨紙ずり	サンドペーパー P320～P400	
8	上塗り	ユートン AQUA（SC-91/92/93） 100 水 0～10	80 g～100 g/m <sup>2</sup> 24時間以上

高耐候性を得るためには3回塗りをお薦めいたします。

塗りかえの場合は、旧塗膜をとり除いた後に塗装を行って下さい。旧塗膜が残っている場合、密着が悪くなる事があります。

条件によって塗布量、乾燥時間は変わりますので目安として下さい。

## 注意事項

塗料使用後は必ず密栓をし、冷暗所に保管して下さい。(凍結しない場所)

ご使用前には塗料を十分攪拌してからご使用下さい。

塗布量が多すぎると乾燥が著しく遅くなり、ツヤムラ・乾燥不良の原因になりますのでご注意下さい。又、塗布量が少なすぎると、塗料の性能が十分出ない可能性があります。標準塗布量を遵守して下さい。

塗布量は、素材の種類によって異なりますので、あくまでも目安として下さい。

塗装前に、素材の汚れ、ヤニ、ワックス等を除去してから塗装して下さい。

5 以下でのご使用は避けて下さい。(乾燥時間が著しく遅くなります)

塗装時に使用した道具は、温水石鹼で洗浄後、溶剤(アセトン)にて洗って下さい。

どのような場合でも換気に十分注意して下さい。

決して飲まないようにして下さい。もし、誤って飲んでしまった場合には、直ちに医師の処置を受けて下さい。

目に入らないようにして下さい。目に入った場合は、直ちに大量の水で目を洗い医師の処置を受けて下さい。

皮膚についた場合には、石鹼で水洗いして下さい。

初めて本製品をご使用される場合には、必ず目立たない場所で試し塗りを行って下さい。

他社製品との併用についても同様に試し塗りを行って下さい。

製品の取り扱いに当たっては、安全データシート(SDS)に従って下さい。

## 廃棄方法

少量の場合には、吸収材(新聞紙等)に染み込ませ乾燥後適切な場所に廃棄して下さい。

量が多い場合には、専門の処理業者に依頼して廃棄して下さい。

水路や下水道には流さないで下さい。